

Data(2013 年 11 月現在)

所在地：〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 37-1

スタッフ

精神看護学領域：太田知子(教授)，黒谷成美(助手)，中川京美(助手)

国際・地域看護学領域：芝山江美子(教授)，宮崎有紀子(教授)，倉林しのぶ(准教授)，李孟蓉(助教)，風間順子(助手)，赤堀八重子(助手)

URL <http://www.takasaki-u.ac.jp/>

左：精神看護領域(左から中川，太田，黒谷) 中央：国際領域(左から李，芝山) 右：地域領域(左から赤堀，倉林，宮崎，風間)



高崎健康福祉大学 保健医療学部看護学科精神・地域・国際領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

人々は、自立して社会生活が送れるように元気で長生きできること(健康寿命の延伸)を望んでいます。それに応えるためには、健康に携わるさまざまな専門職者が質の高い知識・技術を出し合って健康支援を行うチーム医療が求められます。本学部は、将来チーム医療を担って、人々の健康寿命の延伸と医療の発展に貢献できる看護師，保健師，養護教諭および理学療法士の育成をめざしています。保健師については、2012 年度入学生から選択性です。

Education

どのような教育をしていますか？

精神領域は、1 年次から精神疾患をもった患者さんやご家族への看護・支援について学び、3 年次の実習で受け持ち患者さんの看護を展開しています。精神病院や近隣市町村や保健所と協力して効果的な実習をめざしています。患者さんとの関わりのなかで、自己理解や看護観を深める機会になっています。地域領域は、2 年次から講義，3 年次の演習・実習では、地域の事業や地区組織活動の参加・体験をととして住民の個別的保健ニーズと地域の保健問題を捉え、解決するための公衆衛生看護活動の展開について学びます。国際領域では、貧困や教育・環境・食糧・医療などの課題と取り組んでいます。と

くに後発開発途上国のベトナム・インドネシア研修を通じて、学生間交流も盛んに行い、世界の現状を把握しています。今後は国際保健医療体制や方法論を体系的に学ぶ必要があると考えます。

Research

どのような研究活動を行っていますか？

精神領域では、学生が「家族への退院支援について」をテーマに家族へのアンケートを実施しています。また、地域領域では、大学周辺の公民館で実施されている高齢者対象の「いきいき健康サロン」において健康教育を実施しています。健康や疾病の予防などに関するテーマを学生自ら発見し、研究しています。国際領域では、日本に住んでいる外国人の問題を分析し、これからの国際交流につなげております。

Collaboration

保健活動と現場とのつながりは？

医師・看護師・栄養士などの専門職や、民生委員・ボランティア・NPO 団体などさまざまな方と連携しています。県・市町村などとも協力体制を組み効果的な学習をめざしています。2007 年にはインドネシア研修の締結に向け尽力しました。現在ではヨーロッパやオーストラリアでの研修も全学部をあげて実施しています。地域と世界のネットワークを大事にしながら、多様な価値観・文化で研鑽を積み、よりよい地域活動に貢献したいと考えています。

ひとこと

高崎市は、平成の大合併により、群馬県で県内最大の人口を抱える都市となりました。市内からは赤城山・榛名山・妙義山の上毛三山を望む環境です。学生が勉学にいそしみ、今後に向けてさらに活躍できる人材になってほしいと教員一同一丸になって願っております。
……芝山

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動，現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話，FAX，E-mail にて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp